

## 校長だより(令和3年7月)

群馬県立藤岡特別支援学校長 須川 史子

梅雨本番の空模様が続いています。早いものでついこの間、新年度が始まったと思っていましたが、もう1学期の終わりが近づいています。

年度当初より高い警戒レベルで始まり、一時はまん延防止等重点措置地域にまで指定された新型コロナウイルス感染症ですが、6月21日(月)から警戒レベルも1段階下がりました。しかしながらまだまだレベル3という高い状況にあり、非常に感染力の強い変異株が台頭してきているようです。引き続き、本校では感染防止策を徹底し、子どもたちの安全・安心を確保してまいります。ご家庭におかれましても「新しい生活様式」の実践をよろしくお願いいたします。



1学期はコロナの影響で制限はあるものの、始業式・入学式に始まり、小中学部では地域巡りや買い物学習などの校外学習や作業実習等、高等部では、校内実習・現場実習等様々な体験をしました。また、火災や洪水時に備えた避難訓練も実施し、子どもたちは真剣に取り組んでいました。これらの体験を通して学んだことが子どもたちの自信となり、次の活動への意欲につながることを期待しています。

さて、あと20日足らずで子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。長期の休みは子どもたちにとって、学校を離れ公共の場で様々な経験をすることで、社会のルールやマナーを身に付けることができる貴重な機会です。ご家庭でのお手伝いやお店での買い物、また、コロナ対策を万全にしながら公共交通機関等を利用したお出かけなど、ご家族とともに楽しみながら様々なチャレンジをさせてあげてください。

### 【小学部なつまつり集会】

7月9日(金)に「なつまつり」と題して、小中学部棟の1~2階をお神輿を担いで歩きます。また、中庭において小風船や魚すくいをして遊ぶ予定です。いつもにも増して明るい笑顔と大きな歓声につつまれ、心温まる楽しいひとときを過ごすことでしょう。上級生がそれぞれ役割を決めて運営するのですが、ぜひ、自分たちも楽しんでほしいと思います。

### 【中学部校内実習・就業体験】

中学部では6月14日(月)から1週間、校内実習を行いました。各自がそれぞれの特性等に合わせてマット編み、農園芸、持ち手の製作等の作業を行いました。いずれの作業においても集中して取り組む姿が見られ、その成長ぶりに驚かされました。また、1日だけですが、数人の生徒が就業体験をしてきました。高等部での体験に向けてステップになったようです。

### 【高等部校内実習・現場実習】

6月7日(月)より2週間、また昨年度コロナの関係で実習ができなかった生徒についてはさらに1、2週間を加えた長期間にわたる実習がほぼ終了し、先生方や体験先からの報告を受けています。概ね「集中して取り組んでいた。」「真面目に取り組めた。」「問題はない。」等、評判は良好でした。日頃の学習の成果が発揮できたようです。今後は実習で見つかった個々の課題の克服に取り組んでまいります。

### 【高等部ぐんまアビリンピック2021に挑戦】

高等部の生徒5名が7月3日(土)ポリテクセンター群馬で開催される第19回群馬県障害者技能競技大会(ぐんまアビリンピック2021)のオフィスアシスタント部門に参加します。競技の内容は送付状と指定された資料を選択し、宛名シールを貼付した封筒に入れ、その作業の早さと正確さを競うものです。選手の皆さんは連日、放課後も残って練習を重ねています。日頃培った技能を思う存分発揮してほしいと思います。



### 【高等部販売実習】

高等部では7月6日(火)から8日(木)までの3日間、13:20から14:00頃(売り切れ)まで、作業学習で制作した製品や生産物の販売会を高等部キャンピー下で行います。数は限られますが、保護者の皆様にも購入いただければ幸いです。